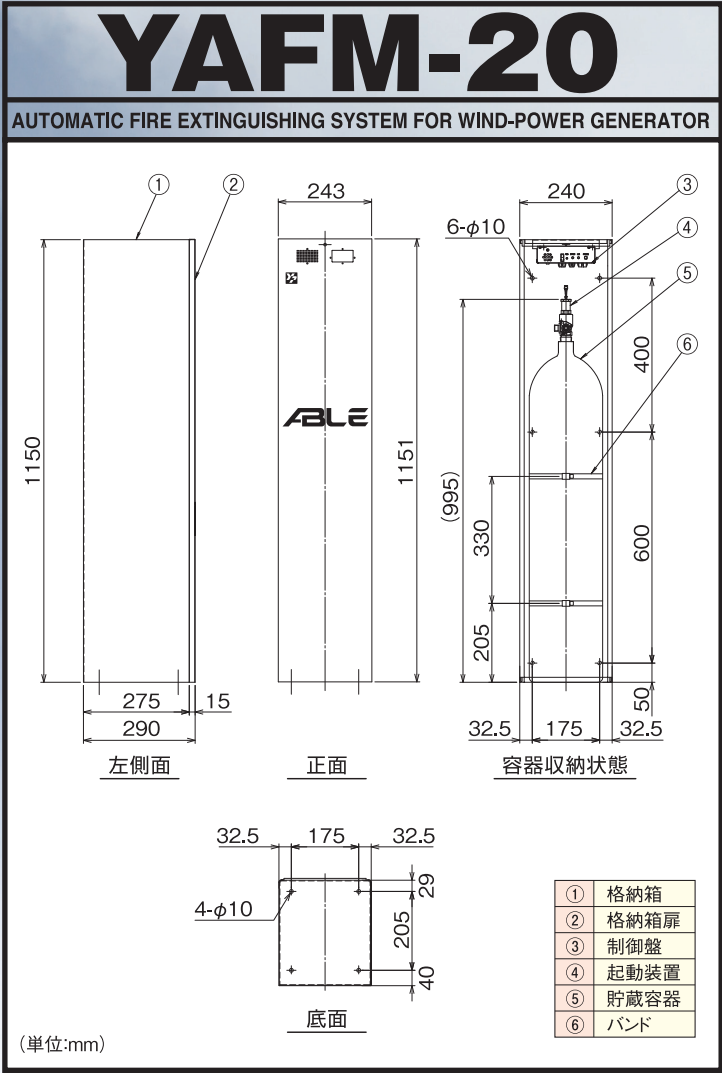




■工事仕様		
設	置	BOX格納にて設置
配	管	銅管 JIS H3300 サイズφ8×φ6
継	手	食い込みリング圧着式
ヘ	ッ	ド 1／4C25型
ヘ	ッ	ド 取 付 け 銅管は片サドル金具で固定(詳細は現地調査によります)
配	線	客先仕様による0.5～1.25mm ² 電線被覆外形(1.9～3.4mm)
電	線	管 客先仕様による
配	線	取 付 け コネクター配線(JST製LLF-41T)

⚠ 警 告	⚠ 注 意
火災発生時には、すみやかに火元から離れてください。 ・燃焼物、消火薬剤の飛散により、ヤケドなどの事故が発生する恐れがあります。 ・排気用装置を設ける場合には、起動、又は感知と連動して停止(ダクト閉又はファン停止)する様に構成してください。消火薬剤が排気され、消火できなくなる場合があります。	取付け時の注意について。 ・制御盤部に水滴、油滴、金属粉の侵入しない箇所へ設置してください。 ・振動、衝撃のある箇所には設置しないようにしてください。 ・使用温度範囲(－10～＋50℃)を超える所、結露の発生する所へは設置しないでください。 ・キャビネットが変形しないように取付けてください。 ・配管内に異物が入らないように注意し、接続部ネジは確実に締付けてください。 ・検知器、各移報間の試験は取扱説明書に基づいて実施してください。 設置、維持管理時の注意について。 ・ 設置後4年を経過したガス発生器、検知器は必ず交換するようにしてください。 ・ 点検業者に定期点検を依頼してください。(6ヶ月に1回程度) ・ 専用リチウム電池は、1年に1回交換するようにしてください。
使用後の処置・注意について。 ・放射後は被射体の表面に付着した消火薬剤を完全に拭き取り、十分に乾燥させてください。 ・消火時は被射体に近づかないように注意してください。被射体に覆いがある場合は消火が確認されるまでは開けないようにしてください。 ・消火後は制御盤の電源を切り、移報関連の処置をして安全を確認してください。 ・起動後はノズル、配管内を十分にクリーニングしてください。 ・起動後は消火薬剤、ガス発生器、ノズル部分の交換及び装置の機能試験が必要となりますので点検業者に依頼してください。	

※カタログ掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

※このカタログは、再生紙を使用しています。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………

ヤマトプロテック株式会社

本 社 東京都港区白金台5-17-2

ホームページ <https://www.yamatoprotec.co.jp>

※このカタログは、再生紙を使用しています。



お問い合わせは
こちら

05-070-2303.DL



火の安心を、つくろう。
Wishing for Your Safety

風力発電機用自動消火装置・YAFM-20

風の力を護る

ABLE

AUTOMATIC FIRE EXTINGUISHING SYSTEM
FOR WIND-POWER GENERATOR

風力発電機用自動消火装置

エイブル

YAFM-20

※このカタログは、再生紙を使用しています。※この商品写真は見本品です。

ヤマトプロテック株式会社

風力発電機用自動消火装置

ABLE

エイブル

YAFM-20

AUTOMATIC FIRE EXTINGUISHING SYSTEM FOR WIND-POWER GENERATOR

自動消火で被害を最小限に。
ガス系消火剤なので消火後の汚損が少ない。

地球温暖化防止とエネルギー自給の有力な一翼として、
今後さらにその重要性が期待される風力発電設備。
予期せぬトラブルによる火災が発生した場合の発電事業停止や
経済的損失を最小限に抑えるために、開発されたのが、
自動消火装置ABLE(エイブル)シリーズのYAFM-20です。

- 火災検知用サーミスタで火災を検知し、火災警報・表示を鳴動・表示するとともに、消火器起動用のガス発生器を作動します。
- 異常温度検知用サーミスタで異常温度を検知し、異常時は故障警報・表示を鳴動・表示します。
- 自動試験機能を有し、サーミスタ・ガス発生器・起動回路・電池切れの故障を自動で検出し、故障発生時は故障警報・表示を鳴動・表示します。
- 電源として、専用リチウム電池(2本)を使用し外部からの電源を必要としません。
- 履歴記録機能を搭載し、総通電時間・火災情報・故障情報等を記録します。

